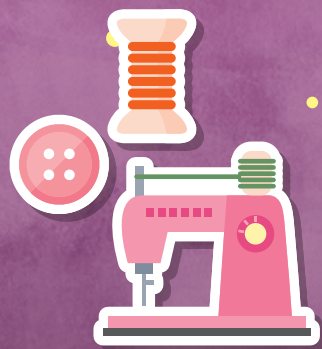




かなざわ版

地域コーディネーター 活動ハンドブック



かなざわ地域学校協働連絡会

Contents

地域学校協働活動とは

01	はじめに	P02
02	地域コーディネーターの役割	P03
03	地域コーディネーターの心得	P03

活動にあたって

01	活動事例	P04
02	1年の活動の流れ	P05
03	実践事例	P07

活動の充実を目指して

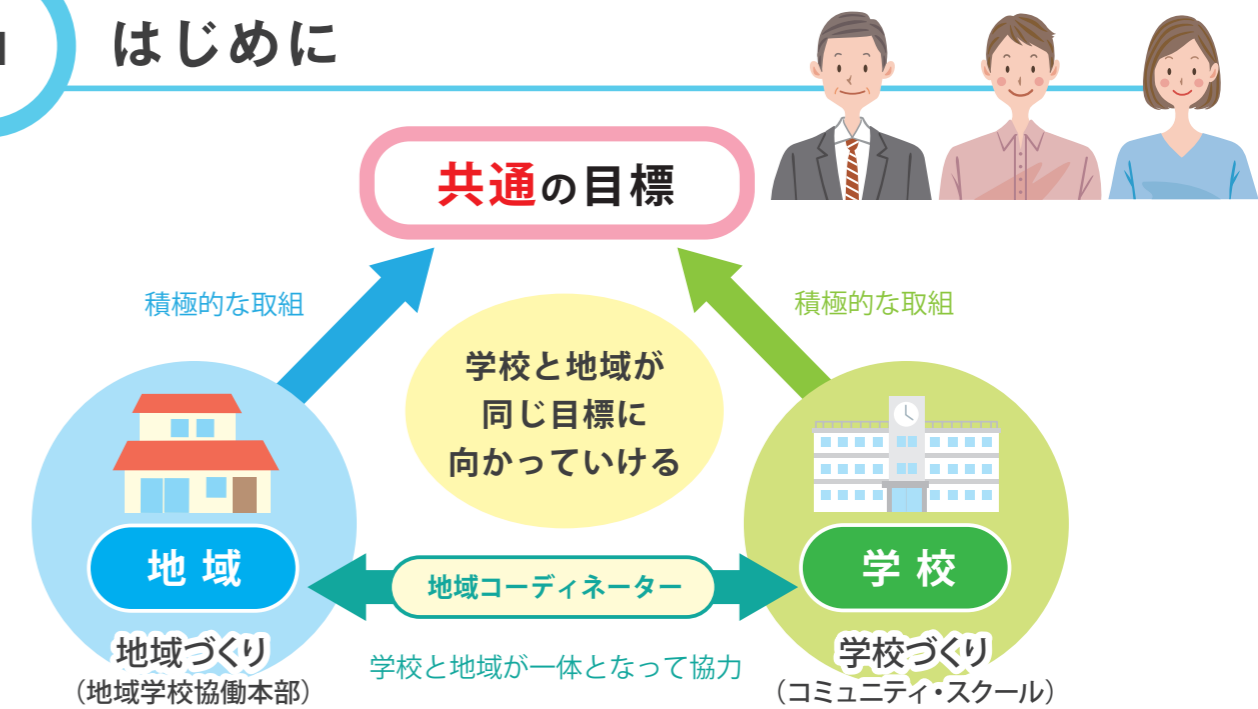
01	質問コーナー	P11
02	学校の声	P13
03	参考情報	P14

地域学校協働活動とは

「地域学校協働活動」とは、保護者、地域住民、その他団体等の幅広い地域関係者の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。

(具体的な活動事例はP04を参照)

01 はじめに



地域学校協働活動の実施にあたり、活動が円滑に行われるように、地域の幅広い関係者により構成される「地域学校協働本部」を設置します。

地域学校協働本部では、学校と地域が共通の目標を持ち、活動の企画、実施、広報、事後評価などを一体となって進めていくことが重要です。

また、活動を実施していく際に重要な役割を担うのが、学校と地域の橋渡し役である「地域コーディネーター」です。

期待される事業の効果

地域の人々に支えられ学んでいくことで、子どもが自分の生まれ育った地域に愛着・誇りを持てるようになる

子どもたちが信頼できる大人と多くの関わりを持ち、愛情を注がれることにより、豊かな心が育まれる

活動に参画する地域住民の生きがいがづくりや自己実現につながる

地域の教育力向上・活性化につながる

地域と学校が顔の見える関係になり、非常災害時や防犯への対応に役立つ

02 地域コーディネーターの役割



「地域コーディネーター」は、地域と学校の連絡調整、ボランティアの確保、活動の企画・運営などを行う、学校と地域の橋渡し役です。

地域コーディネーターの活動内容

- 学校と地域間の連絡調整
- 活動報告の作成
- 地域ボランティアの確保
- 地域学校協働活動に関する経理事務
- 活動の企画・運営
- かなざわ地域学校協働連絡会への参加 など

※必ずしもこれら全ての活動を行わなければならないというわけではありません。
実際にどのような活動を行うかについては、学校と相談しながら決めることになります。

03 地域コーディネーターの心得



地域コーディネーターとして活動するにあたり心掛けていること

※各校区地域コーディネーター対象アンケート調査より

- 「子どもたちのために」「学校の応援団である」という気持ちをもつこと
- 普段から学校を訪れ、子どもたちの様子をよく知ること
- 学校や地域の考え・思いを理解し、それぞれに伝えること
- 活動の意義や目的を意識して、曖昧な点、不明な点は確実に解決しながら活動を進めること
- 早めに予定を立て、学校、ボランティア、講師など関係各所とこまめに、かつスムーズに連絡をとること
- 学校と積極的にコミュニケーションをとり、何でも相談し合える関係を築くこと
- 積極的に地域と関わり、地域団体とこまめに情報共有しながら地元とのつながりを大切にすること
- 「この地域だからできること」を考えながら活動すること
- ボランティアが楽しく気軽に参加でき、次の参加につながるような声かけ・活動をすること
- 参加してくれるボランティアに学校の思いや活動のポイントを伝えること
- 学校の活動に関心を持ってもらえるように地域に働きかけること
- 学校も地域も嬉しくなるような活動を計画すること
- 子どもの視点と大人の視点で考えて活動すること
- 自分もこの地域の一員だという当事者意識を持ちながら活動すること
- 活動が活性化するように、同じ活動でも毎回変化をつけること
- 活動の充実のために、同校区の地域コーディネーターと連携すること
- 活動に関わる全ての人に感謝の気持ちと敬意を持つこと

活動にあたって

01 活動事例



地域コーディネーターは以下のような活動の中で、ボランティアの募集や企画・運営、講師の調整など、様々なシーンで活躍しています。

教科学習

- 国語：書き初め補助 ● 算数：九九教室、四則計算の補助
- 生活：昔遊び、野菜作り、生き物飼育の補助 ● 図画工作・技術：制作補助、工具使用補助
- 家庭：裁縫、ミシン、調理実習補助 ● 体育：水泳見守り補助、走り方教室の補助
- 放課後・夏休みの学習補助

総合的な学習・特別活動

学習支援

- 出前講師によるお茶・和菓子体験 ● 安全教室の補助 ● 地域探訪・郷土学習の引率補助
- ビオトープ整備補助 ● 出前講師による米作り体験の補助
- 出前講師による伝統工芸・文化・芸能体験 ● 出前講師による特産品の学習
- 職業人講師によるキャリア教育 ● 事業所での職場体験 ● 出前講師によるマナー講座
- 出前講師による主権者教育 ● 出前講師によるメンタルトレーニング学習会
- 演劇体験の補助 ● 出前講師によるフィールドワークの引率補助
- 出前講師による探究学習
- 出前講師による防災学習(防災ボックス設置、講習、クイズラリー、ハザードマップ作り など)
- 出前講師によるクラブ活動の指導 ● 出前講師によるマーチングバンドの指導

学校行事

- 受付補助(入学式、運動会、公開研究発表会、夏休み作品展 など)
- 出前講師によるサマースクール ● 就学時健診、その他検診での補助
- 安全見守り補助(運動会、マラソン大会、遠足 など) ● 宿泊体験学習の補助

環境整備

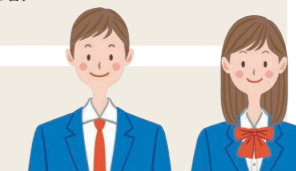
- 花植え、水やり ● グラウンド等の草取り ● 運動場の泥上げ
- 通学路ライン引き ● 除雪ボランティア

地域行事

- 学習成果の発表補助(夏祭り・文化祭での作品展示、伝統芸能披露)

その他

- 図書ボランティア ● 登下校見守り ● あいさつ運動
- 高齢者との交流 ● 生け花ボランティア
- 不登校支援(不登校カフェ、居場所づくり など)
- 活動報告(お便り作成、Web配信 など) ● お仕事体験イベント ● 校内フェスティバル



※これらは一例です。

※各校区地域コーディネーター対象アンケート調査より

年度初め

1年間の活動計画について学校と打ち合わせ

- 学校と地域コーディネーターの役割分担
- 学校、ボランティアとの連絡手段の確認
- 1年間の学校のスケジュール、教育方針、学級情報の把握
- 個別の活動について担当教員との顔合わせ、大まかな計画5W1H(いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのように)
- ボランティア・講師の募集内容・方法・来校時の注意点
- 昨年度からの変更点 など



私にご挨拶も兼ねて、
毎年度初めに学校に伺い、
その際に打ち合わせも
しています！

先生方はいつが
良いか聞いて
みようっと！



年度途中

活動ごとに詳細について学校と打ち合わせ

- 授業の詳細聞き取り、当日までの段取り確認、具体的な計画の作成
- 学校、地域コーディネーター、ボランティア、講師の役割
- 必要なもの、人、場所の確認 ● 外部講師の有無、謝礼 ● 実施形態(現地、Webなど)
- 校舎管理員に用具の相談 など



活動の準備

- ボランティアの確保(募集・選定) ● 活動の周知(チラシ作成、配布)
- ボランティア名簿作成、保険加入手続き ● 講師や協力団体探し、依頼、打ち合わせ
- ボランティア、講師等関係者へ活動内容の説明
- 当日使う用具の在庫・動作確認、必要物品の購入、小物や資料作成
- 校内外の活動場所の下見
- 随時担当教員への連絡(進捗状況報告・詳細事項の確認) など



活動当日の運営

- 開始前に学校と最終打ち合わせ(確認)
- ボランティア・講師の対応(出迎え、事前説明、学校との仲介、補助、見送り)
- 活動の取りまとめ、進行の調整、活動補助
- 活動場所の巡回・安全確認、随時学校と状況について共有
- 記録(写真撮影など) など



活動後の後片付け・後処理

- 使用した用具・部屋の管理(整理整頓、洗浄、清掃、返却、消耗品の在庫確認、処分)
- 講師、参加ボランティアへのアンケート依頼、回答のまとめ など

活動の振り返り

- 最終的なボランティア参加者の確認
- 良かった点、反省点、改善点、昨年度との比較
- ボランティア参加者・講師からの感想や意見を学校と共有
- 当日の記録をまとめ、学校と共有
- 学校だより、ホームページなどに掲載する資料の作成 など



年度末

学校と1年間の振り返り

- 年間の活動全体を通して良かった点、改善点
- 活動を通して感じた子どもたちの変化について共有
- 次年度に向けた活動の検討
- 学校運営協議会での活動報告 など

▶ ボランティア、講師、
協力団体へ共有

その他に・・・

- 年度途中で次年度の活動を学校と計画し、講師や協力団体の候補を決めてリサーチ・声かけ
- 1年を通して常に地域団体と関わり、ボランティアの確保のために活動の周知・声かけ

※これらはあくまでも一例であり、必ずしもこれら全てを行わなければならないというわけではありません。

03 実践事例

ミシン補助ボランティア

事例1

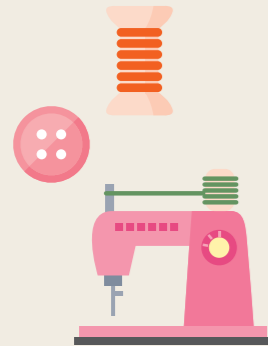
- ① 学校より活動日程連絡とボランティア募集依頼
 - ② ボランティア募集(個別に声かけ)と活動内容の共有
 - ③ 学校にボランティア参加者情報をメールで共有
 - ④ 学校がボランティア保険加入手続き
 - ⑤ ボランティアと参加日の日程調整
 - ⑥ 学校に授業ごとのボランティア割り振りを共有
 - ⑦ 活動当日、ボランティアと事前打ち合わせ(よくあるアクシデント、その対応方法など)
 - ⑧ 活動中のボランティアへのフォローや手助け
 - ⑨ 活動終了後、ボランティアへのお礼と今後の活動への参加についてお願い
- [金沢市立伏見台小地域学校協働本部]

同じ活動でも
それぞれの学校で
進め方に違いが
あるんだなあ



事例2

- ① 学校との連絡担当地域コーディネーターあてに、ボランティア募集依頼と活動の情報提供(地域コーディネーター全員へ共有)
 - ② ボランティア専用のグループチャットで活動詳細を伝え、参加者の取りまとめ(チャットに入っていない方には個別連絡)
 - ③ ボランティア参加者名簿を作成し、学校に共有
 - ④ 当日まで学校とボランティア参加者の連絡調整(学校からの追加情報の伝達、ボランティアからの質問を学校に確認し回答を共有)
 - ⑤ 活動当日、ボランティアの取りまとめと活動の補助(地域コーディネーター不在の日もあり)
 - ⑥ 活動終了後、学校と活動を振り返り
 - ⑦ 参加したボランティアへ児童の感想の共有と感想・意見の聞き取り
- [金沢市立押野小地域学校協働本部]



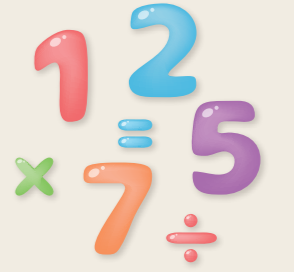
出前講師による防災学習

- ① 活動への要望やスケジュールについて学校からヒアリング
 - ② 地域の自主防災会に協力を依頼し、学校と詳細について打ち合わせ
 - ③ 学校から市の担当課に出前講師の依頼
 - ④ 活動内容が概ね固まったら、近隣地域の自主防災会にも協力依頼
 - ⑤ 学校に連絡し、協力団体の受入れ準備(駐車場の確保等)について相談
 - ⑥ 活動当日、自主防災会の主導で活動(地域コーディネーターは活動の補助)
 - ⑦ 活動終了後、撤収作業補助
- [金沢市立長坂台小地域学校協働本部]



九九学習支援ボランティア(九九リンピック)

- ① 活動の実施日と内容について、担当教員と打ち合わせ
 - ② 過去にボランティアとして参加してくれた方(人材バンク登録者)へ募集要項を郵送し、ボランティア募集(新たに参加してくれる方も口コミで募集)
 - ③ 参加してくれるボランティアの一覧表を作成し、学校と共有
 - ④ 担当教員と活動の調整・当日に使用する物品の準備
 - ⑤ 活動当日、地域コーディネーターもボランティアの一人として参加しつつ、他のボランティア参加者を取りまとめ
 - ⑥ 活動終了後、学校と活動の振り返り
(最終的なボランティア参加者一覧表と報告書を作成し、学校と共有)
- [金沢市立鞍月小地域学校協働本部]



放課後の学習支援ボランティア「中村塾」

- ① 学校運営協議会・分科会にて、実施について協議・検討方向性、対象児童、教科、内容、ねらいの確認
 - ② 詳細が決定したら、実施日を学校と相談し確定
 - ③ 学校と地域コーディネーターでボランティアを募集
学校は参加希望児童と保護者ボランティアも募集
(児童・保護者には保護者連絡ツールで一斉配信、地域には個別に声かけ)
このときにあらかじめボランティアに活動の留意点も伝達
 - ④ 活動当日、地域コーディネーターもボランティアの一人として参加しつつ、児童の様子を観察(地域コーディネーター不在の日もあり)
 - ⑤ 次の学校運営協議会にて、当日の児童の様子や学習の成果について共有
- [金沢市立中村町小地域学校協働本部]



夏休み中の畑・花壇への水やりボランティア

- ① 年度初めにボランティアを募集
 - ② 水やりボランティア参加希望者に活動内容を連絡
 - ③ 夏休み中のシフト表を作成し、当日の活動場所の地図とともにボランティアに共有
 - ④ シフト表に基づいて活動し、ボランティア中に困ったことや気づいたことがあれば聞き取り
 - ⑤ 夏休み終了後、ボランティア参加者へお礼を伝え、活動について良かった点や改善点などをヒアリング
 - ⑥ いただいた意見をまとめ、ボランティア参加者と学校に共有
 - ⑦ 年度末に次年度の活動参加について呼びかけ
- [金沢市立泉野小地域学校協働本部]



出前講師によるキャリア教育「生き方を学ぶ会」

- 1 学校と日程の確認
- 2 担当教諭と授業内容の確認
- 3 生徒たちにとって身近な職業人(講師)をなるべく地域の中から選出し打診(1学級に2人ずつ講師を配置できるように必要な人数分依頼)
- 4 学校が作成した正式な依頼文を受け取り、講師に送付
- 5 学校が講師の謝礼金準備
- 6 学校があらかじめ生徒からの質問を取りまとめ、その内容を講師にも共有
- 7 活動当日、講師への対応・写真記録(進行は生徒が担当)
- 8 活動終了後、学校から講師に謝礼金支払い・生徒の感想文とお礼状送付
[金沢市立鳴和中地域学校協働本部]



夏休みの学習支援ボランティア「夏休み自習室」

- 1 学校と活動日4~5日間の日程調整
- 2 大学生のボランティアサークルにボランティア依頼
保護者からもボランティア募集
- 3 学校にボランティア参加者情報を共有
- 4 シフト表の作成
- 5 ボランティアと学校にシフト表共有
(ボランティアには活動当日の流れや注意点も伝達)
- 6 夏休み前に生徒向けの案内を作成、学校から生徒へ配布
- 7 活動当日、会場準備と活動の様子見守り
[金沢市立長田中地域学校協働本部]



花植え活動ボランティア

- 1 年度初めにボランティアを募集
- 2 学校と日程について相談し、決まり次第ボランティア参加者へ郵送で案内
- 3 活動内容の詳細と参加する生徒、必要なものなどについて学校と打ち合わせ
- 4 必要なものの買い出し
- 5 活動当日、開始前にボランティアに流れを説明
活動はボランティアの主導で進め、地域コーディネーターは活動の補助
- 6 活動終了後、使用した用具を片付け
[金沢市立金石中地域学校協働本部]



出前講師による総合探究学習 「金沢SDGs ミライシナリオを学び、 より良い金沢のまちづくりを考える」

- 1 講師依頼にあたり、必要事項(学校行事との兼ね合い、日程調整、学習計画など)について担当教員と対面で打ち合わせ
- 2 市の担当課へ活動内容を伝え、講師依頼(併せて日程調整も依頼)
- 3 学校、講師、地域コーディネーターで活動詳細についてオンラインで打ち合わせ
- 4 打ち合わせ後、正式な講師依頼文と活動詳細を講師へ送付
- 5 講師より参考教材を受け取り、生徒に配布できるよう準備
- 6 1回目の活動(オンライン講話)当日、地域コーディネーターはオンラインの設定と授業の補助
- 7 1回目の活動後、生徒は複数回の授業で課題探究に取り組み、発表準備
その間、地域コーディネーターは発表会(2回目の活動)について講師に情報伝達し、参観と講評(学校訪問)を依頼
- 8 講評準備のため、事前に発表内容を講師に共有
- 9 講師用アンケート用紙の作成など2回目の活動当日に向けて準備
- 10 活動前日、学校にて担当教員と使用するもの・教室の準備
- 11 活動当日、授業の補助と記録写真の撮影
- 12 活動終了後、講師からアンケート用紙と生徒へのメッセージを受け取り、学校と共有
- 13 後日、活動日当日に撮影した写真の利用範囲について相談
[金沢市立西南部中地域学校協働本部]



ふるさと学習の引率補助「辰巳用水フィールドワーク」

- 1 活動内容について学校と打ち合わせ
- 2 引率するボランティアの募集
- 3 担当教員、当日参加するボランティアと予察(現地下見)
現地を回りながら当日のシミュレーションをし、内容を精査
- 4 用水の管理団体、地域の方へ活動当日の講師依頼
- 5 ボランティアとともに、休憩で使用する古民家の清掃
- 6 生徒への事前学習
- 7 活動当日、同行し活動のサポート
- 8 活動終了後、学校と振り返り
[金沢市立犀生中地域学校協働本部]



活動の充実を目指して

01 質問コーナー



「他の学校ではどんなふうになっているのだろう？」

そんな疑問を金沢の全地域コーディネーターにアンケート調査してみました！

Q 地域コーディネーターとして活動していて嬉しかったこと・やりがいは何ですか？

私の場合は・・・

- 子どもたちから笑顔で「楽しかった」と言われ、元気をもらえたこと
- 先生方、ボランティアの方、子どもたちの家族の方から「良い経験をさせてもらえた」と喜んでもらえたこと
- 地域の多様な大人と関わることで、子どもたちの体験活動が豊かになり成長が感じられたこと
- 自分が携わったことにより、活動が充実・成功し、学校と地域が連携・協働できていると感じたこと
- 地域のボランティア活動が活性化したことを実感したこと
- 新しい人との出会いがあり、自分自身が成長できること
- 自分の子どもが卒業した後も、地区の教育活動に貢献できること



Q 授業の出前講師を探す際、どこで・どのように見つけていますか？

私の場合は・・・

- 元々の知り合いに声をかける
- 知り合いから紹介してもらう
- 他校の地域コーディネーターから紹介してもらう
- 地域活動に参加する中で講師をお願いできそうな人材と知り合う
- 公民館、児童館をはじめとした地域の団体に聞いてみる
- 地域を歩いて探し、電話や訪問をして問い合わせる
- 地域の中で講師募集情報を発信する
- 市役所など行政の講師派遣制度を利用する

Q ボランティアとどのように連絡を取っていますか？

私の場合は・・・

- メッセージアプリ
- 行事等お会いするタイミングで伝達
- 電話
- メール
- SMS(ショートメッセージ)
- 書面(郵送)
- 学校、公民館を通して連絡
- 自宅や事業所へ訪問



Q 活動を充実させスムーズに進めるために、学校との関係づくりはどのようにしていますか？

私の場合は・・・

- 先生方とこまめに連絡をとり、情報共有する
- 定期的に学校に行き、先生方とコミュニケーションをとる
- 打ち合わせを対面で行ったり、授業を見学したり、自分自身もボランティアとして活動に参加したりすることで、顔の見える関係をつくる
- 学校の考えや1年間の計画をよく理解し、支援する姿勢を見せる
- 打ち合わせを含め無理な活動は企画せず、学校に寄り添った活動を行う
- 学校から気軽に頼ってもらえるような雰囲気・体制をつくっている

Q 学校との打ち合わせの方法・手段は何ですか？

私の場合は・・・

- 関係づくりも兼ねて、何とか時間を確保してもらい対面で打ち合わせをするようにしている
- 時間が最小限になるように事前に資料をメールで送り、目を通してもらった上で対面で打ち合わせをする
- 活動や学校運営協議会のときにお会いするタイミングで打ち合わせもする
- 何度も会う時間を確保してもらうのは難しいので、ほぼメールやメッセージアプリでやり取りする
- 基本的にはメールのみで打ち合わせをする
(会う回数が少ないからこそ、会ったときのコミュニケーションを大切に)
- 電話とメールで打ち合わせをする
(直接話した方が良い重要なことは電話で、文字で残した方が良いことはメールにしている)



Q 活動で苦労したこと・していることは何ですか？

私の場合は・・・

- 自分があまり詳しくない分野の出前講師の紹介依頼を受けたとき、どの団体を当たればいいのか困り、手当たり次第に聞いて回った
- 急にボランティアが必要になったとき、当日まで日がない中で十分な人数を確保するのが大変で、すごく焦った
- ボランティアが集まらず苦労したため、協力してくれる地域団体を増やし、ボランティア募集情報が広く行き渡るように努めている
- 新しい活動を一から始めるときに悩み、学校に何回も相談させてもらった
- 講師が来られなくなった、悪天候により活動を実施できなくなったことがあり、それからは必ず代替案を用意するようになった
- 参加してくれるボランティアに、若い世代や新規の参加者が少ない
- 活動内容をアップグレードをさせたいが、理想と現実には差があり、なかなか難しい
- 教員間の地域コーディネーターという存在の認知度を上げて、もっと活用していただきたい！

Q 活動を今後も途絶えさせることなく継続して実施できるように、工夫していることはありますか？

私の場合は・・・

- 活動後、必ずボランティアや講師にお礼を伝える
- 活動に関わってくれた方へ活動の成果を伝えると、喜んでもらって次回も協力しようと思ってもらえる
- 講師やボランティア、地域団体と距離を縮め、次回もお願いしやすい関係をつくる
- 学校も自分自身も継続して活動できるように、無理な企画はしない
- ボランティアや講師など活動に参加してくれる方を大切に、ご意見もしっかり受け止めて活動に生かす
- 活動に関わってくれる方を増やすために、学校から活動の様子を学校ホームページに掲載してもらい周知する

「かなざわ地域学校協働連絡会」では、年に数回地域コーディネーター同士の情報共有の場を設けています。活動を通じた悩みや成功のコツなど、ぜひ参加して他の地域コーディネーターに聞いてみましょう！



- 地域が協力して下さる体制を整えていただいたことにより、子どもたちは毎回の活動で地域の方から多くの学びと愛情を得ている。子どもたちも地域の方々との関わりを楽しみにしている。
- 子どもたちに地域の方々とふれあう時間を作っていたことにより、子どもたちの挨拶が良くなった。
- 地域の方から学べる機会を作っていたことにより、子どもたちが地域について詳しくなった。
- 教育活動に地域のサポートを受けやすくなり、とても助かっている。
- 子どもたちのために情熱をもち、一生懸命に役割を果たしていただいていることに、充実感を覚える。
- 地域コーディネーターが頻りに学校に足を運んで職員とコミュニケーションを取って下さるので、良い関係を築けて活動を調整しやすい。
- 子どもたちの主体性を大切に活動を考えてくれていることに感謝している。
- 地域コーディネーターそれぞれが持つ強みやつながりを生かして、様々な活動をして下さっている。
- 地域の窓口として学校側からの思いや願いを受けとめ、地域の方々につないで下さっていることが大変ありがたい。
- 様々な場面で学校と地域住民の橋渡し役をして下さり、地域の学校運営への理解が進むとともに、様々な活動への支援や協力体制がより円滑に構築されている。
- 校内外の活動の調整など多岐にわたって支援を受けている。ありがたい一言に尽きる。
- 地域コーディネーターのご尽力により、ボランティアの登録・参加人数が増えた。
- 学校だけでは実施が難しいことをスムーズに進めることができた。
- 新たな人材発掘や学習スタイルの提案をいただけた。
- 学校のニーズに合った人材を探してきてくれて助かっている。おかげで充実した授業が展開できた。
- 活動に対して地域からの協力を得る際、窓口を一本化して依頼ができ、助かっている。
- 地域に精通している地域コーディネーターが関わってくれたことで、教職員だけでは対応が困難な部分について支援を受けることができ、授業の充実につながった。
- 地域コーディネーターが講師の調整をしてくれるおかげで、学校だけでは築けない信頼関係を構築することができた。
- 学校の思いを汲みながら、活動の日程調整やボランティアへの声かけをして下さることがありがたい。今後は、地域コーディネーターからの提案型の活動についても、前向きに取り組みたい。
- 課題を共有しながら共に考え、良い方向へと歩んでいける強固なチームをつくりたい。
- 地域コーディネーターと1年間の調整を早めに行い職員にも周知することで、学校と地域が日常的に無理なく関わり続ける仕組みを整えていきたい。



活動報告

各校から寄せられた**たくさんの活動報告**が掲載されています。
記事は活動が行われる度に随時更新されるので、
定期的にチェックしてみてください！自校の活動のヒントになるかも？



かなざわ生涯学習情報サイト 「まなびの広場」

- >「地域学校協働活動」
- >「活動報告一覧」

https://manabi-kanazawa.jp/archives/kyodo_report

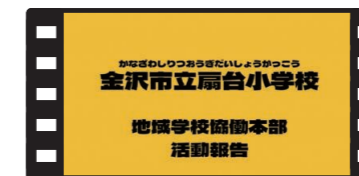


PR動画

各校の活動内容を紹介するPR動画(全6校分)を公開しています。
(令和4～6年度にかけて広報活動の一環として制作しました。)



粟崎小学校



扇台小学校



犀生中学校



鞍月小学校



馬場小学校(令和6年3月閉校)



夕日寺小学校

鞍月小学校の動画

<https://vimeo.com/1085535688?share=copy>



鞍月小学校以外の動画

<https://www.youtube.com/channel/UCs81gFsP8DIH97tTLQJL9cA>



かなざわ地域学校協働連絡会

(事務局 金沢市教育委員会生涯学習課)

〒920-8577 金沢市柿木島1番1号

TEL (076)220-2441 FAX (076)220-2488

E-mail syougaku@city.kanazawa.lg.jp

発行 令和8年3月